

■ 申 込 要 領 ■

内容及び 募集人数等	時 間 / 内 容	A教室	B教室
	午前 9 時～ 1 0 時 3 0 分	①ブラダンロボット 6人	②ゲームクリエイター 6人
	午前 1 1 時～ 1 2 時 3 0 分	③宇宙エレベーター 6人	④ゲームクリエイター 6人
	午後 1 時 3 0 分～ 3 時	⑤ブラダンロボット 6人	⑥ゲームクリエイター 6人
	午後 3 時 3 0 分～ 5 時	⑦宇宙エレベーター 6人	⑧ブラダンロボット 6人
※応募多数の場合は、抽選や調整となります。			
対象	市内在住・在学の小中学生。※定員に達しない場合に限り市外の小中学生も参加可。		
参加費等	1回 2,500円+消費税 全15回 ※市外の方は1回 3,000円+消費税となります。 ※ブラダンロボットは教材費として別途 10,000円+税が最初にかかります。		
日程	5月〔26日〕、6月〔9日、16日、23日〕、7月〔14日、28日〕、8月〔11日、18日、24・25日〕、9月〔8日、15日、29日〕、10月〔6日、13日〕		
実施場所	富士見市役所 全員協議会室 ※8月24・25日は、会場が埼玉大学となります。		
申込要件等	①STEM教育は積み重ねが大切であるため、原則、全日程にご参加いただきます。 欠席の場合は別日程で補講（60分）を受講いただきます。 ②参加費は、原則振込で先払い（振込手数料は参加者負担）となります。 振込方法等は参加確定後、改めてお知らせいたします。 ③参加者の都合による欠席・退会の場合、返金はいりません。 ④日程、会場は変更となる場合があります。		
申込方法及び 申込締切日	下記申込書に必要事項を記入の上、地域文化振興課へ直接または郵送（締切日必着）、FAXでお申し込みいただくか、埼玉大学 STEM 教育研究センターのホームページからお申込みください。 申込締切日は5/17まで		
問合せ先	富士見市役所 地域文化振興課 ☎049-251-2711 内線 251、252 〒354-8511 富士見市大字鶴馬 1800-1 FAX049-254-2000		

キ リ ト リ セ ン

富士見☆研究室 参加申込書

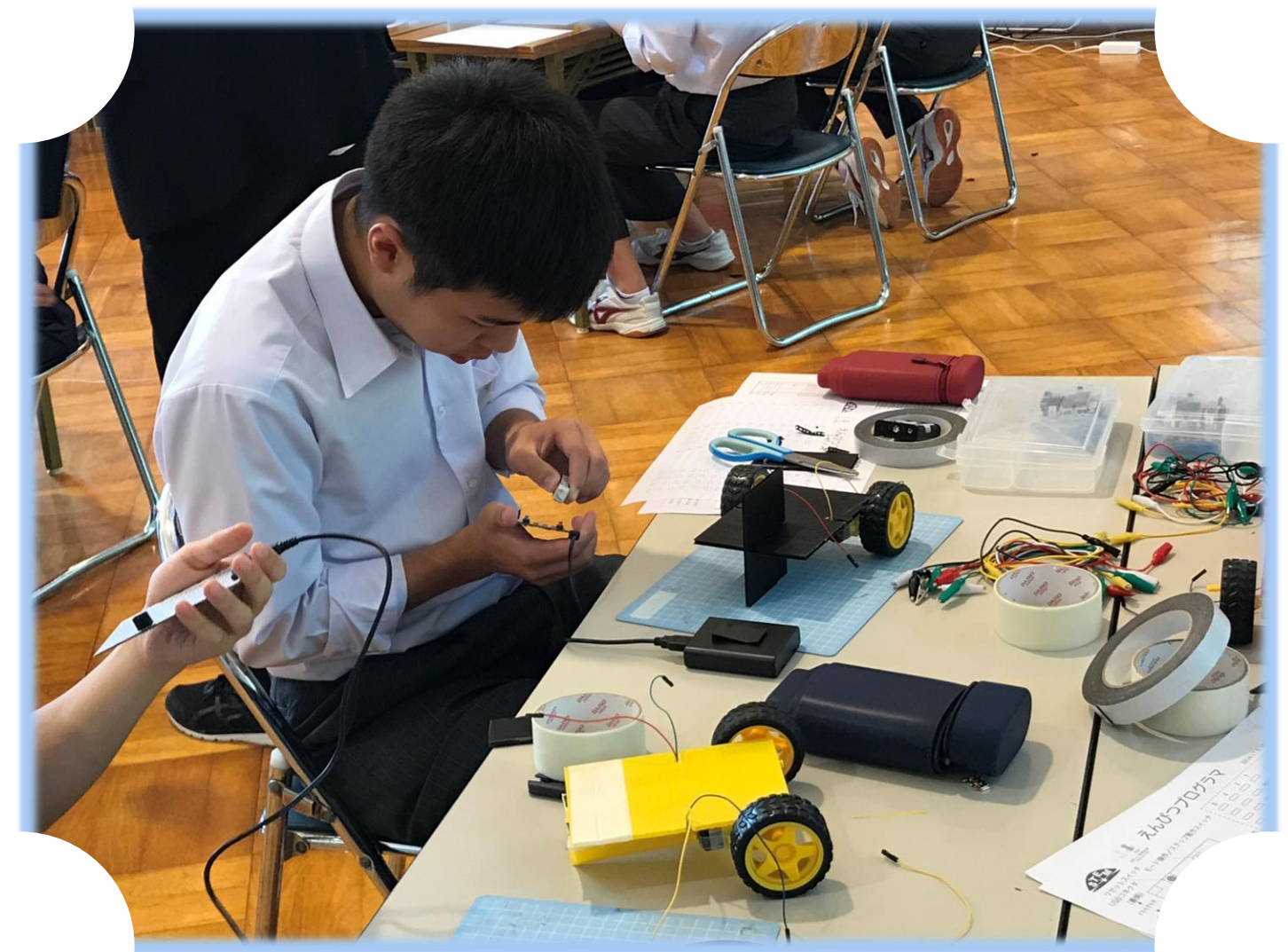
ふりがな 氏名		学校・学年	学校 年
住所・電話	保護者の方の電話 ()		
申込み	第1希望	記入例 ①ブラダンロボット、⑥ゲームクリエイター など	
	第2希望		

STEM 教育の実践フィールド

「ロボットと未来研究会



富士見☆研究室」開校



STEM 教育は、ロボット作りやプログラミングなど、ものづくりを通じて学習することで、子ども達の論理的思考力や創造性、問題解決能力の向上を図ることのできる取り組みです。

STEM 教育とは、S…SCIENCE（科学）、T…TECHNOLOGY（技術）、E…ENGINEERING（工学）、M…MATHEMATICS（数学）の科学技術等の分野において、将来活躍する人材育成を目的とした教育です。

■ 保護者の皆様へのお願い ■

(1) 個人情報の取扱いについて

お申込みでいただいた個人情報は、緊急時の連絡や欠席した際の補講の日程調整などで使用いたします。また、本取り組みは埼玉大学 STEM 教育研究センター（ロボットと未来研究会）と連携して実施しているため、参加者の個人情報は市と同センターで共有させていただきますので、あらかじめご了承ください。なお、いただいた個人情報は双方が責任を持って管理いたします。

(2) 写真等の撮影及び使用について

本活動では、市及びロボットと未来研究会が記録や広報用として写真や映像を撮影し使用します。また、取材等が入り撮影が行われる場合もあります。このため、参加を希望する場合は、あらかじめ撮影及び写真等の使用についてご承諾をお願いいたします。（難しい場合は、個別にご相談ください。）

(3) 指導者（リーダー）及びアシスタントとしてのご協力のお願い

本取り組みを継続的に実施していくため、市民の皆様で子ども達の学びの場を支えていただきたいと考えています。このため、指導者（リーダー）とアシスタントにご協力いただける方を募集しています。薄謝ですが、「ロボットと未来研究会」より謝礼をお支払いします。詳しくは、市役所地域文化振興課（049-251-2711 内線 252）にお問い合わせください。

(4) 教育研究活動に対するご協力のお願い

（埼玉大学 STEM 教育研究センター・ロボットと未来研究会）

ロボットと未来研究会は、子ども達の教育にロボットを使うことの効果について研究している世界中の研究者や学生によって活動が行われています。会場では、研究活動の一環として参加者にインタビューや撮影を求める場合があり、その内容は記録されるとともに、研究目的に公開されることがあります。このため、以上のことについて同意の上、ご協力をお願いします。なお、具体的な研究内容や成果については下記へご連絡いただければお知らせすることが可能です。

〒338-8570 さいたま市下大久保 255 埼玉大学 STEM 教育研究センター
代表・埼玉大学教育学部准教授 野村泰朗 TEL&FAX 048-858-3862

■宇宙エレベーターとは（ものづくり）

頑丈な構造,ギアの仕組みなどを学びながら宇宙エレベーターのクライマーを組み立てます。

■プラダンロボットとは（ものづくり+プログラミング）

プラスチックダンボールで自分だけのオリジナルロボットを作って、プログラミングをして動かします。

■ゲームクリエイターとは（プログラミング）

スクラッチというソフトを使ってプログラミング・ゲーム作りの基礎を学びます。